

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称: D○コーナン【ドウ コーナン】)
②活動拠点	平川地区 吉敷地区 大歳地区
③活動範囲	山口市内
④組織体制	<u>5 人</u> 不登校心理相談士1名、元教員1名、保育士1名 地域学校協働活動推進員2名
⑤活動開始年度	2018 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 山口市教育委員会社会教育課 (TEL)083-934-2865 (E-mail)s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・活動地域の学校における保護者カフェの開催、 学期末の保護者懇談時に保護者が待ち時間に来て、子育ての悩みや不安を聞き、訪問個別相談へつないでいる。コンセプトは「開かれたオープンカフェ」で、お茶を飲みながらの保護者との語らいの中から、保護者の子育ての想いや要望を聞き、チームの活動へとつなげている。PTAや教職員とも連携し、保護者へ参加の呼びかけを行なってもらっている。 ・就学時健康診断での家庭教育講座の開催 就学時健康診断の際に家庭教育講座を企画・運営、開催している。保護者同士の横のつながりづくりにもなっている。 ・家庭教育支援チームの活動紹介・説明 小学校仮入学時や就学時健康診断時に、アドバイザーの紹介とともにリーフレット「親も子も一歩ずつ」を作成・配付するなどして、チームの活動を周知している。 ・親子で学べる講座「子そだてマナビイ」の企画・提案・参加 保護者が関心のあるテーマについて学んだり、親子参加型講座で子どもとともに学んだりするなど、家庭教育のヒントとなる講座を開催している。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	家庭教育講座や保護者カフェ等の機会に個別相談があることを伝えることで、誰かに子育ての悩みを聞いてほしいと願う保護者に寄り添っている。 家庭教育支援チームについてアウトリーチで知らせることで、顔の見える関係が作られ、より安心して訪問相談を希望できるようになったようである。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()